



さいたま市

SDGs 認証企業
事例集 Vol.2



目次

さいたま市長あいさつ	1
さいたま市SDGs企業認証審査会委員長あいさつ	2
SDGs企業認証制度について	3
SDGs認証企業に対する支援策	5

事例紹介(五十音順)

01 株式会社インボックス	7
02 オレンジ法律事務所	8
03 株式会社金子製作所	9
04 株式会社銀虎	10
05 コマニー株式会社	11
06 有限会社さいたま造園	12
07 有限会社サイワ塗装工業	13
08 JR東日本スポーツ株式会社	14
09 株式会社システムインテグレータ	15
10 積田冷熱工事株式会社	16
11 株式会社七越製菓	17
12 株式会社ニイガタ精密	18
13 日本製罐株式会社	19
14 有限会社花たろう	20
15 株式会社ボイスクリエーションシュクル	21
16 毎日興業株式会社	22
17 株式会社メフオス	23
18 モデリング株式会社	24





さいたま市長
清水 勇人

SDGs 経営を実践する 18社をご紹介します

さいたま市では、SDGs達成に向けた取組を推進しており、令和元年に国から県内初となる「SDGs未来都市」に選定され、令和4年に実施された民間企業による「全国市区・SDGs先進度調査」で2回連続総合1位となるなど、本市のSDGs推進に向けた様々な取組が高い評価をいただいております。

その取組の一つとして、令和3年度から「SDGs企業認証制度」を立ち上げ、SDGsの理念を尊重し、経済・社会・環境の三つの分野を意識した経営活動を推進する市内企業を積極的に支援しております。

その支援の一環として発刊した本事例集では、認証企業196社の中から18社のSDGs達成に向けた取組をご紹介します。

本事例集をきっかけに、一人でも多くの方に、地域の魅力ある企業の取組を知っていただきSDGs経営のヒントとなれば幸いです。

結びに、本事例集の発行にあたり、ご協力いただきました企業の皆様に心から御礼申し上げます。



さいたま市SDGs企業認証審査会委員長
永沢 映

SDGs 経営の推進を目指して

最近では、テレビや新聞・雑誌等のメディアを通じて企業や自治体等によるSDGsの取組を目にする機会が増え、全国各所でSDGsに関するイベント、セミナー、フォーラムが開催されるなど、SDGsへの関心度が高まっています。

企業にとってSDGsに取り組むことは、社会課題の解決に貢献できるだけでなく、新たなビジネス機会の創出や市場の開拓、資金調達機会の拡大、人材の獲得など多くのメリットにつながる可能性があります。

SDGsは「誰一人取り残さない」国際的な指標であり、抽象的な目標でもあります。それを企業経営にどのように具体的に反映するか、一人一人の社員、関係者にも理解とともに実行をしてもらうかが重要です。

SDGs企業認証制度は、企業としての強み・弱みを把握し、企業ごとの具体的な行動目標を設定し、実践することを分かりやすく示した制度となっております。

認証企業には、この事例集をはじめとしたSDGs達成に向けた情報発信やSDGsコミュニティ活動の実施による連携やつながりの機会も提供しています。企業によるSDGsの実践を通じて、更に魅力的なさいたま市と一緒に実現していきましょう。

SDGs企業 認証制度について

SDGsとは

SDGsは2015年(平成27年)9月に国連で採択された、持続可能な社会を実現するための、2030年(令和12年)までに達成すべき国際目標です。「誰一人取り残さない」という共通理念のもと行政や企業、各団体、個人において目標達成に向けた取組が進められています。

企業がSDGsに 取り組む意義

近年、少子高齢化、人材不足等の社会課題、地球温暖化や海洋汚染等の環境問題が多様化・複雑化している中で、企業が事業を継続し、成長し続けていくためには、長期的な視点で社会のニーズをとらえ、経営のかじ取りをする必要があり、その際にSDGsを活用することができます。

例えば、SDGsに示される地域や社会の課題を経営の視点に取り入れることで、「取引先の減少」や「信用力の低下」等の経営リスクを軽減でき、加えて「課題解決に貢献する製品・サービスを開

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



出所：国連広報センター

発すること」などにより、ビジネスチャンスの獲得にもつながります。

さいたま市では、企業が行う事業そのものはもちろん、普段から取り組んでいる従業員の労働環境整備、高齢者雇用の促進、省エネ活動など、企業のあらゆる活動はSDGsにつながると考えています。企業がそれらの活動を伸長し、社会課題の解決へ貢献できるよう、「SDGs企業認証制度」を通じて企業を支援しています。

さいたま市SDGs 企業認証制度とは

「SDGs企業認証制度」は、SDGsの理念を尊重し、経済・社会・環境の三つの分野を意識した経営活動を推進する市内企業・団体を、本市が「SDGs認証企業」として認証し、各種プログラムを通じてSDGs経営の推進を支援する制度です。本市は認証制度を通じて、市内企業の成長を後押しするとともに、地域経済の持続可能な発展や社会課題の解決を目指しています。

本制度は令和3年度に創設し、建設業や卸売業、小売業、製造業など、多様な業種の企業が認証を受け、事業を通じたSDGsの達成に向け、様々な取組を実施しています。

また、本制度への申請書類として、企業の皆様には「SDGsチェックリスト」の作成をお願いしています。チェックリストは、企業のコンプライアンスな

ど10項目からなる「マストSDGs」、多くの企業において取り組むことが可能な95項目からなる「ベーシックSDGs」、企業ごとに目指す目標を三つ以上挙げる「チャレンジSDGs」で構成されています。また、「SDGsチェックリスト」に記入する際の手引きとして活用できる「SDGs推進マニュアル」を作成しています。

SDGs経営の推進を実現するためにも本制度への応募をぜひご検討ください。



▲さいたま市SDGs企業認証式の様子



さいたま市SDGs企業認証制度HP
<https://www.city.saitama.jp/005/002/010/013/p080038.html>

SDGs 認証企業に 対する支援策

SDGs 認証企業になると
様々な支援を受けることができます。

1 SDGs 認証企業 PR支援

認証企業に対するPR支援は、認証企業の
知名度の向上や取引機会の創出を目的として
実施しています。

認証企業のSDGs達成に向けた取組や今
後の目標については本誌「SDGs 認証企業
事例集」や市HPにおいて紹介していますの
でぜひご覧ください。



さいたま市SDGsコミュニティ活動による 企業支援ロードマップ



2 SDGsコミュニティ活動

「SDGsコミュニティ活動」は、認証企業に対しSDGs経営に関する気づきの場を提供することで、新たな価値創造やビジネスマッチングなど経営に生かすヒントを持ち帰っていただき企業の持続的な成長を促すことを目的としています。

SDGsのテーマを経済・社会・環境の三つに分類し、令和4年度は社会面をテーマとして、参加企業の方に「SDGs経営を自分ごと化」していただけるよう、専門家による講演やワークショップを通じて最新情報の提供や交流の場を設けました。本コミュニティ活動終了後のアンケートでは90%以上の参加者に良い評価をいただいています。



▲コミュニティ活動の様子



3 SDGs認証企業 合同面接会

「SDGs認証企業合同面接会」は社会情勢の変化に伴い、求職者の企業選びにおいて企業の社会貢献度の高さの重要性が高まっていることを受け、認証企業におけるSDGs経営の推進及び人材確保等を支援することを目的に実施しています。

令和4年度は、20社の企業、73名の求職者に参加いただき、多くの企業・求職者に面接の機会を提供することができました。



▲合同面接会の様子

4 認証企業への SDGs経営支援

認証企業に対する経営支援を実施するため、専門家派遣やコンサルティング等による課題解決支援を行うほか、認証企業向けの制度融資である「さいたま市SDGs企業支援資金融資」を通じて、認証企業に対する金融支援を実施しています。

今後も本制度における支援内容を拡充し、認証企業のSDGs経営を後押ししていきます。



認証企業に対する支援策

<https://www.city.saitama.jp/005/002/010/013/p088959.html>

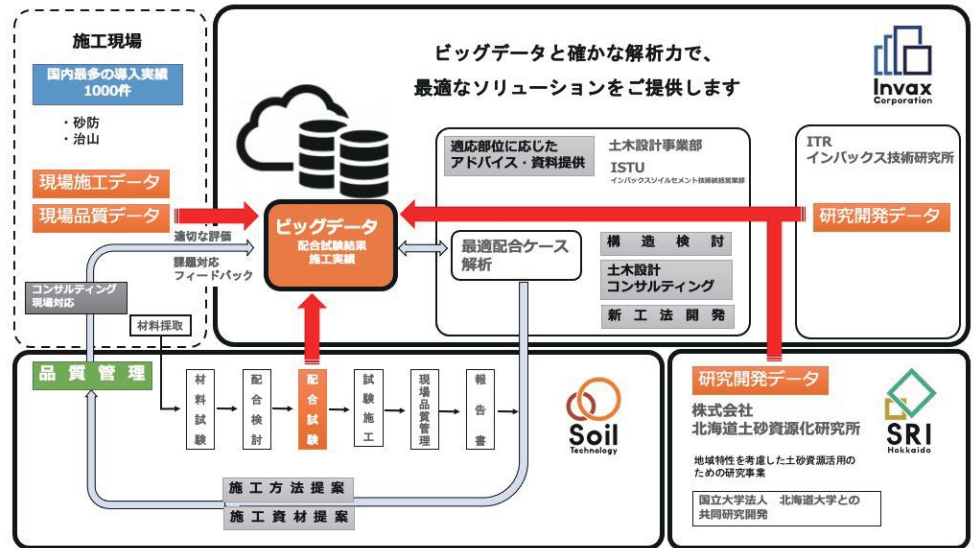
あらゆる土砂を建設材料として資源化 『捨てるではなく、生み出す』へ

事業内容

当社には、様々な工事で発生する建設残土や、災害で発生した土砂を、高強度化、地盤安定化、再泥化防止ができる『ソイルセメント』という新たな土木資源に変える技術があります。創業から砂防関係事業を主体として、土木設計コンサルティングや当技術の研究開発を行っています。子会社のソイルテクノロジーでは、ソイルセメントの適正な配合割合を導き出す配合試験及び適応性評価試験とソイルセメントの品質管理を行っています。同じく子会社の北海道土砂資源化研究所では、寒冷地の土砂資源活用のための研究開発を行っています。

SDGsに関する取組

当社は、現地土砂、廃棄される予定の土砂、災害発生土砂、掘削土砂等、あらゆる土砂を防災施設の建設材料として資源化してきました。土砂を活用することはアジテータトラックなどの運行台数を大幅に削減することにつながり、二酸化炭素の排出量や騒音・振動・粉じんを減らし、環境負荷を低減させることができます。また、建設残土の廃棄処理を削減することで土捨て場が減少し、陸上の生態系の保護に貢献します。さらに、地域内で完結できるサイクルを作り出すことで地産地消・地方創生を推進します。当社内では、作業の機械化・IT化をすることで、働く人々が技術練度に関係なくジェンダーレスに対応できる環境構築を推進しています。



▲インバックスグループによる現地土砂の活用



▲サステナブルなサイクルの実現



▲「九都県市のきらりと光る産業技術」受賞

未来に向けて

コンクリートが発明されて世界が変わったように、さいたま市発の技術で日本の土木資源に変革を起こし、日本だけでなく世界中の強靱(きょうじん)な社会インフラ整備を可能にしていきたいと思っています。そのために、この技術をさまざまな用途で活用できるよう継続して研究開発を推進していきます。その推進の一つとして、2022年12月に新社屋へ移転し、ここを拠点としてAI技術・ウェアラブルデバイスの活用や新たな工法開発を進め、これまで以上に人々の暮らしに安全・安心を提供し続けることに貢献していきます。

自社の自慢

当社の技術は生まれて20年程の技術ですが、創業以来継続して研究開発を行い、2022年1月には「彩の国SDGs技術賞」の大賞を受賞し、同年10月には「九都県市のきらりと光る産業技術」として表彰されました。また、2021年11月には「さいたま市男女共同参画推進事業者」として表彰されました。これからも引き続き、新しい土木資源の研究開発、ジェンダーレスに働ける環境整備等、社内外で持続可能な取組を推進していきます。

H.O.S.C.工法の開発

H.O.S.C.(水和超微細ソイルセメント)があらゆる用途で、あらゆる場所で、誰もが使えるように...

- 土砂の性状を問わない
- 製造方法にこだわらない
- 施工方法にこだわらない

今までの既成を取っ払った工法

AI技術の活用

INVAX BIG DATA X AI

これまで蓄積してきたソイルセメント活用に関する現場のノウハウの知見をAI技術で蓄積し、社会に活用します。

3A-System (トリプルエーステム)

誰でも、いつでも、どこでも anyone, anytime, anywhere つながるシステム

当社がソイルセメント技術のHubとなり、様々な業界、分野、さらに世界へ広がっていくように当社独自の権利管理プラットフォームを構築・導入。

▲新社屋での研究開発の推進

企業概要

代表取締役社長: 秋山祥克

- 創業: 2000年
- 本社: さいたま市岩槻区加倉 23-1
- 電話: 048-749-2035
- info@invax.co.jp
- https://invax.co.jp





ワイルドな局面も上品かつ抜け目なく

埼玉県の中小企業に勇気と感動を与え、未来をデザインする

事業内容

オレンジは、2012年に設立し、『依頼者の利益を確保する』ことはもちろん、『依頼者の成長をプロモートする』ことをモットーに、少しでも依頼者の力になりたいとの思いで弁護士を行っている。一つの事件に対して3人以上の弁護士が対応することで、多角的観点、自由な発想を想起し、いつでも、どのような状況においても、最高品質の対応ができるよう事件に取り組む。現在は、斜め上をいく、らしくない法律事務所として、中小企業に方向性を示し、進むべき方向への推進力を与えられるように、日々、まい進する。

SDGsに関する取組

オレンジがSDGsに取り組む理由は、周辺地域の活性化、環境保全などの社会貢献を具体的に実践できることのみならず、弁護士だからこそ伝えられる教育や、専門家相談による中小企業への貢献等があると考えたからである。SDGsに取り組むようになってからは、さいたま地方裁判所初の法律事務所主催の小中高生向けの裁判傍聴イベントの開催や、中小企業向けのセミナーが活発化し、さいたまという地域により貢献するべく、さいたま市の中小企業の顧問弁護士となる機会が増えた。



▲『依頼者の成長をプロモートする』



▲小中高生向けの裁判傍聴イベントの開催



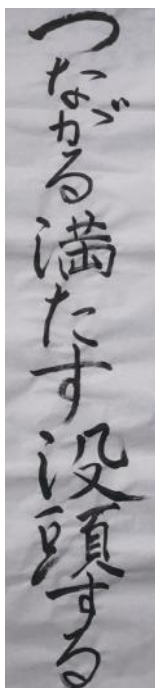
▲スタッフ一丸となり、質にこだわったサービスを提供

自社の自慢

オレンジは、名前の印象どおり明るく楽しい面もあるが、何と言ってもより良質なサービスを提供することを重んじていることが一番の魅力である。いつでも、どんなときでも質にこだわり、調査の深さや詳細まで検討して方針を決定するオレンジマインドは、長年失われず、今後も続くオレンジの大切な核である。それが依頼者や裁判所からの信頼となり、オレンジがさいたまの地に存在し続けることが、地域貢献になれば幸いである。

未来に向けて

スタッフ一丸となって、周りの人、周りの会社を巻き込みながら、楽しく地域社会を盛り上げるとともに、法の支配を担う一翼として、社会秩序の維持、法律制度の改善をしていきたい。さいたまという地にしっかりと根を張り、オレンジから最高品質のサービスを提供し続けることで、もっともっとたくさんの中小企業に勇気と感動を与えられると信じている。



▲重視する3要素

企業概要

代表者：辻本恵太

- 創業：2012年
- 本社：さいたま市大宮区宮町
2-10シンテイ大宮ビル5階
- 電話：048-782-5757
- ✉ ketsujimoto@orangelow.jp
- 🌐 <https://orangelow.jp/>



大切にしてきたのは、ものづくりへの「誇り」です

事業内容

創業より60年以上にわたり精密切削加工部品の製造に携わっており、医療用軟性内視鏡部品は40年、航空機エンジン部品は30年、微細複雑形状部品の切削加工と組立技術をもって部品を供給し、安定生産を続けております。

また、航空機部品の分野では、国産エンジン開発にも参画しております。当社が切削加工の分野で取り扱う材質は、アルミ・ステンレス・チタン・インコネルといった各種金属をはじめ、樹脂、加工が難しいとされるマシナブルセラミックまで多岐にわたります。



▲内視鏡先端部品

SDGsに関する取組

当社は、製造過程におけるムダを排除することで、売上あたりのCO₂排出量削減に取り組み、気候変動の緩和に努めています。また、技能者の国家技能検定取得に向けた教育・育成によって、技能的・職業的スキルの取得を支援しており、働きがいのある職場に向けた取組をしております。当社のメインビジネスは、世界中に輸出されている医療用軟性内視鏡の製造の一端を担っており、環境や人権に配慮した活動をベースに安定した供給責任を果たし、今後も多くの人の健康に貢献していきます。



▲海外展示会の様子



▲女性社員にも評判の良い社内カフェ

未来に向けて

世界中で内視鏡の活用が進み、私どもが携わる部品の生産数も増加している中、部品供給を通して医療用軟性内視鏡が世界に広がっていくことに貢献します。また、その先には病気の早期発見と低侵襲治療の普及があり、健康と福祉に寄与するものと考えます。当社は、生産性や技能の向上、そして生産に携わる私たち自身の健康経営も重視し、将来にわたって社会貢献していきたいと思っております。

自社の自慢

長年培ってきた精密切削加工のもう一つの側面としては、切削加工後の工程にあります。切削加工後の仕上げや精密な組立では、細かな配慮と気付きが必要であり、当社はこのような工程で女性の活躍の場が広がっています。さいたま市本社では3割以上、いわき工場においては4割が女性社員という比率となっており、今後は更に女性の活躍の場が増えていくと考えています。



▲技能検定

企業概要

代表取締役社長：金子 晴房

- 創業：1956年
- 本社：さいたま市岩槻区古ヶ場 1-3-13
- 電話：048-794-8111
- info@t-kaneko.co.jp
- <http://www.t-kaneko.co.jp>



畳も、人も、長い付き合いを 銀虎式「循環型社会における畳のある暮らし」を実現します

事業内容

畳工事、畳の製造・卸売・小売、盆彩畳の製造・販売を行っています。一般家庭だけでなく、旅館・ホテル・飲食店・公共施設・保育園・公民館など多数施設における畳も取り扱っています。

「地域に根差した畳店でありたい。」

私たち銀虎は、心地よい状態のまま長く使い続けられる畳をお客様にご提供したいと、いつも考えています。一度畳を張り替えたらしおしまいではなく、畳に何かあった時にはいつでもご連絡をいただきたいと思っています。

「畳も、人も、長い付き合いを。」

地域に根差した畳店として、これからも正直な仕事を続けていきます。

SDGsに関する取組

年々減りゆく日本の畳。流通している畳の約8割が中国産であるという現実。

畳は、生産者がい草を育て、刈取り、畳表に織り上げます。そのため、生産者により品質の差は大きく、込められる思いも様々です。

畳は「価格で選ぶ」から「生産者で選ぶ」の時代へ。

銀虎は、お客様に生産者の思いや、安心安全で高品質な畳の魅力を伝えることを何より大切に考えています。銀虎式「循環型社会における畳のある暮らし」の第一歩です。

この取組は、やがて「日本の畳が親から子へ、子から孫へとめぐる」ことにつながるものと信じています。



▲「価格で選ぶ」から「生産者で選ぶ」へ



▲「循環型社会における畳のある暮らし」の実現のために



▲人にも環境にも優しい、笑顔に満ちた暮らし



▲地域に根差した畳屋を目指す

未来に向けて

廃プラスチック削減が求められる今なお増えゆく工業製品の畳。

もちろん工業製品の畳を選ぶ必要性もときにはあるでしょう。しかし、日本の畳の真の魅力を知らないままに、工業製品の畳が選ばれる現実は見過ごせません。

「お客様・生産者・産地問屋・地域社会・銀虎」互いが関わりあう、銀虎式「循環型社会における畳のある暮らし」。この実現こそが、『人にも環境にも優しい、笑顔に満ちた暮らし』につながるものと信じています。

自社の自慢

銀虎の自慢は、常に「正直であること」です。『お客様・熊本八代の生産者・そして銀虎。三方よしの関係を創りながら、地域に根差した畳店でありつづけたい』を経営理念とし、お客様に「銀虎に頼んでよかった」と感じていただけることを何より大切にしています。

「お客様・生産者・産地問屋・地域社会・銀虎」互いが関わりあう、銀虎式「循環型社会における畳のある暮らし」の実現のため、これからも正直な仕事を続けていきます。

企業概要

代表取締役：高野登

- 創業：2010年
- 本社：さいたま市見沼区堀崎町 520-4
- 電話：048-812-5773
- Eメール：n.takano@gintora.co.jp
- URL：https://gintora.co.jp/



植物の美しさを表現して感動をお届けし、 地域社会に必要とされる会社経営を行います

事業内容

当社は2001年に設立し、地域の造園業者として発展してまいりました。個人のお庭や学校等施設の緑地メンテナンス、植物の剪定や除草、薬剤散布など、1年を通して緑地空間の整備を行っております。また、新築建物の外構エクステリアの施工や植栽工事の受注はもちろんのこと、屋上や壁面緑化といった特殊緑化の受注も行っております。日頃の作業は、危険との隣り合わせです。まずは、「安全第一！」でしっかりと仕事を行い、自分たちのやりがいを得るとともに顧客先からも満足いただき、「地域社会に必要とされる企業」として更なる経営体質の強化をしながらまい進しております。



▲主な作品風景

SDGsに関する取組

当社の事業である緑化産業の分野においては、企業活動そのものがCO₂削減や緑化による健康維持に貢献するものであります。一方、経済成長の観点からは人材不足が業界全体の課題とされており、当社はインターンシップ生の受入れや、人材育成年齢を問わない人材育成といった人づくりに力を入れています。また、かねてからのNPOや奉仕団体との関わりの中で地域貢献を身近に感じながら、事業活動を行っております。



▲インターンによる作業の様子



▲生態系自然保護イベントの様子

未来に向けて

地域の緑地管理を主軸とする事業者として、緑地の保全や維持の必要性を企業や自治体に向けて今以上に発信していくことが大切であると考え、低炭素社会や自然共生社会の実現に向けて、今後も活動を進めてまいります。また、男性の育児休業や介護休業の取得推進といった労働環境の改善をはじめ、時代の変化に対応できる企業を目指していきます。

自社の自慢

植物を扱う事業者としての強みを生かして、NPO団体やロータリークラブ等と連携し、2030年までに生物多様性の損失を食い止め、回復させる“ネイチャーポジティブ”というゴールに向け、世界の陸と海の30%以上の生物の多様性を守るための目標である30by30(サーティ・バイ・サーティ)に貢献する活動を行っております。



▲マツの剪定作業

企業概要

代表取締役：小沢孝

- 創業：2001年
- 本社：さいたま市見沼区片柳 1008-1
- 電話：048-686-8336
- info@saitama-zouen.com
- <http://saitama-zouen.com/>



彩の国さいたまを彩るサイワ塗装工業です

塗装で長く住み続けられるまちづくりに貢献しています！

事業内容

サイワ塗装は外壁塗装専門店として、お客様の建物を守っている会社です。住宅やビルの屋根・外壁の塗装をする塗装専門店でありながら、社員一人一人雨漏り修繕や、防水工事など、住宅に関する幅広い知識を持ち、お客様のお悩みを解決に導きます。お客様の人生に鮮やかな彩(いろどり)を与えていく、地域に密着した企業です！！

SDGsに関する取組

『住み続けられるまちづくりを』

塗装リフォームを行い、長く住み続けられる住宅を提供することは、住み続けられるまちづくりにつながると考えています。塗装リフォームにより、遮熱・断熱の塗料を塗装し、室内の環境が整えられることで、エアコンなどの使用量を抑える省エネにつながるため、地球の問題を身近なところから解決していけると考えています。



▲省エネにつながる塗装リフォーム



▲地域密着型の企業



▲中学校の職場体験

未来に向けて

地域の発展に不可欠な地域社会の子供たちの成長を見守り、応援する企業として、中学校の職業体験では3日間で延べ70名の生徒を受け入れました。これからも積極的に子供たちと交流を持つため、この活動を続けていきたいと考えています。子供たちに働く楽しさ、働く意味などを伝えていくことで将来の地域の活性化や、健全な子供たちの育成により、地域社会を守ることにつなげ、塗装専門店としての業務を通して、安心・安全を提供し続けていきたいと考えています。

自社の自慢

地域に根付いた塗装工事を行い、身近な地域を中心に工事を請け負うことで、困ったことがあればすぐに対処することができます。コミュニケーションが密になることで地域の見守り役としての役割を果たしていきます。弊社は塗装工事の実績と同様に雨漏りの解決率100%という実績があります。雨漏りとは非常に身近な問題であるにも関わらず、何年も解決できずに悩まれているお客様が非常に多く見受けられます。長年雨漏りに悩み、多額の修理費用を支払ったが解決できないというお客様のお悩みに向き合い、解決に導きます。住宅や店舗の雨漏りを解決することで、住環境の快適化と物理的な労働環境の向上に役立っています。



雨もり119
INFRARED TECHNOLOGY



▲雨漏りの解決率は100%

企業概要

代表取締役：澤田直樹

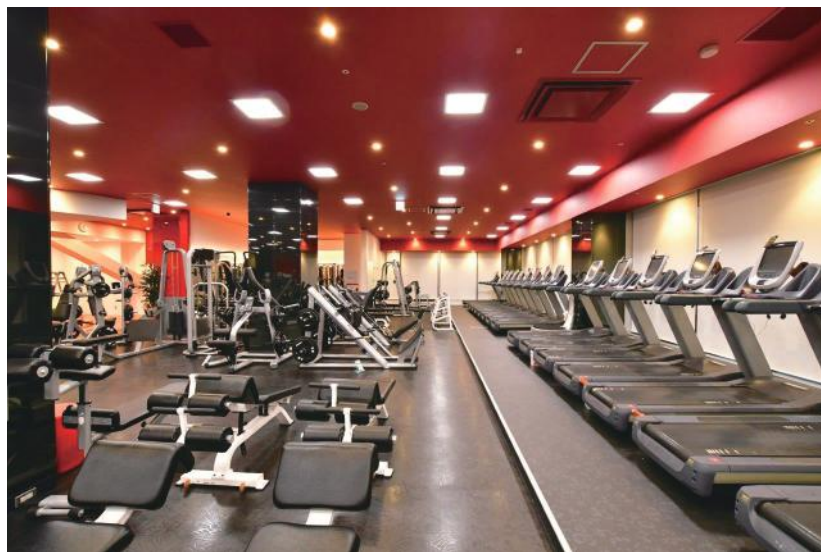
- 創業：2006年
- 本社：さいたま市西区三橋6-286-2
- 電話：048-621-3377
- info@saiwagroup.co.jp
- <https://www.saiwagroup.co.jp>



私たちは地域の皆様の からだココロの健康づくりに貢献します

事業内容

当社は地域の皆様の「からだココロの健康づくりに貢献する」というコンセプトのもと、あらゆるタイプの店舗を展開しています。また、JR東日本グループの最大の強みである「駅」と「鉄道」のネットワークを最大限に生かし、「エキチカ」に位置するリラクゼーションスポットやフィットネスクラブの運営を中心に、様々な事業を通じてお客様から高齢者まで幅広い年齢層の皆様の健康をサポートしております。近年では通所介護サービスの提供やeスポーツ施設の展開など、常に時代の変化に目を向けた取組を行っております。



▲フィットネスクラブ

SDGsに関する取組

当社の主力事業であるフィットネスクラブでは、空調や照明、プールや温浴などでエネルギーを多用することから、企業理念に掲げる「私たちは、地域の健康づくりと環境の保護に貢献します」の達成に向けた取組を推進しています。具体的には、エコロジー宣言と題して会社トップから強いメッセージを発信するとともに、管理標準10ヶ条に定められた「こまめな消灯を行う」「各種機器の温度設定を季節ごとに管理する」「定期的にフィルター清掃を行い、空調効率を維持する」などの省エネ活動に全社一丸となって取り組んでいます。



エコロジー宣言

JR東日本スポーツは、JR東日本グループの一員として、事業活動と地球環境保護の両立に、貢献を誓って取り組んでいます。

環境と社会を共生の輪
SDGsを
サポート

項目	内容
1	空室・平定時にはこまめな消灯を行う
2	営業時間外の電力使用機器の待機電力をOFFにする
3	季節ごとの設定温度を厳格化する（※※）
4	利用者数・利用形態に応じた空調設定を行う
5	空調効率の向上のため空気層層を行う（※※※※※）
6	ボイラーなど空調機器の定期点検を行う
7	空調機フィルターの清掃点検を毎月実施する
8	エネルギー使用量は前年と比較しながら管理する
9	施設・設備の稼働率・稼働時間・稼働温度を季節別に設定する（※※※）
10	各店舗に環境マネジメント責任者を配置し省エネ活動を活性化させる

●エネルギー使用機器 設定温度
【空調機】
夏期：26℃（冷房）
冬期：22℃（暖房）
中間期：28℃（冷房）

●スローガン
日常行動の積み重ねを大切にしよう！

●監修：環境マネジメント室

▲管理標準10ヶ条



▲お子様が笑顔で生活できる社会を実現

未来に向けて

将来の日本を担うお子様方へ運動や文化活動への取組について注力してまいります。まずは部活動の地域移行について、当社は2022年度より試行的に部活動支援をスタートいたしました。2023年度は運動部・文化部共に当社の専門性を生かし、より多くの部活動を支援いたします。また、当社の施設や人財を活用した体育の授業なども積極的にサポートいたします。それにより少しでも教員の方々の負担を減らし、教育現場のより良い未来へ向け地域社会と一体となって活動することにより、全てのお子様が好きで運動や文化活動を持ち、自信を持って笑顔で生活できる社会を実現していきたいと考えています。

企業概要

代表取締役社長：穴吹昌弘

- 創業：1978年
- ジェクサー・フィットネス&スパ大宮
さいたま市大宮区錦町91-4
- ジェクサー・フィットネス&スパ浦和
さいたま市浦和区高砂1-16-12
- JR浦和駅西口ビル 5階-7階

■ 電話：(大宮)048-662-8880 / (浦和)048-813-5630

■ <https://www.jresports.co.jp>



▲健康経営優良法人ホワイト500

自社の自慢

「私たちは、からだココロの健康づくりに貢献する、元気で活き活きとした企業をめざします」の企業理念のもと、お客様はもちろん、従業員の健康づくりに力を入れております。「健康経営」が企業価値を高めている流れも踏まえ、喫煙率0%に向けた活動を始めとする「からだの健康」、従業員同士のコミュニティ作りのイベント等による「ココロの健康づくり」を行い、JR東日本のグループ会社として初の「健康経営優良法人ホワイト500」を獲得しました。今後は、更なる労働環境の変化に柔軟な対応ができるよう人材不足等の社会問題に立ち向かっていきます。



時間を与えるソフトウェアを創り続ける

事業内容

当社は、パッケージソフトウェア及びクラウドサービス(SaaS)、AI関連ソリューションの企画開発・販売、コンサルティングを行っているBtoBソフトウェア企業です。

ECサイト構築パッケージ、ERP、システム開発支援ツール、プロジェクト管理ツール、プログラミングスキル判定サービスなど、皆様の業務効率化・生産性向上をサポートするソフトウェアを開発・ご提供しています。

「社員全員が一流の技術者」であることをビジョンに掲げ、お客様ファーストの高い品質のサービスを開発し続けています。

SDGsに関する取組

当社は、SDGsへの取組の一つとして子ども食堂のホームページ作成を行っています。現状、多くの子ども食堂がホームページを持っておらず、利用したい人、寄付をしてくれる人、ボランティアを考えてくれる人などに対して、きちんと活動内容を伝えられていません。

この子ども食堂のホームページ制作支援は、多くの支援者にご参加いただき運営しています。支援者の皆様と、情報発信を必要としている子ども食堂をつなげることで、子ども食堂を中心とした幅広いコミュニケーションの場の実現を目指しています。

未来に向けて

私たちのミッションは「時間を与えるソフトウェアを創り続ける」ことです。皆様の自分らしい働き方を実現し、QOL(Quality of Life)を高めるお手伝いをしています。

世界を取り巻く社会課題を解決するには、向き合う時間と取り組む時間が必要です。高い理想を持っていても、日々の業務に忙殺されていると、課題解決に向けた具体的なアクションはできません。

自分らしく生き、社会課題に向き合う余裕を持てる、そんな社会の実現を目指しています。



ECサイト構築パッケージ

オムニチャネル、越境、ネットスーパー、BtoBなど、デジタルビジネスを支える最新のEC基盤。

▲製品・サービス一例



草加あおはるの食堂



完全統合型Web-ERP

販売、会計、人事、生産など様々な業界、業種に適合する統合型基幹業務パッケージ。内部統制にも対応。



プロジェクト管理ツール

PMBOKに準拠。コスト、スケジュール、品質まで総合的にプロジェクトを管理。工事進行基準対応。



プログラミングスキル判定

採用や社員のプログラミング教育に役立つオンライン・リアルタイム判定可能なクラウドサービス。



桂の食卓〜桂ん家〜



7DAYちょこっとランチ



長くつ下のピッピ食堂



子ども食堂 結び

▲子ども食堂



▲風通しのよい風土づくりを大事にする

自社の自慢

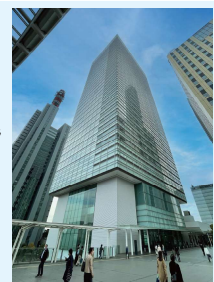
当社の強みは、安心して技術力を高められる環境が用意されていることです。事業を通し、社会課題を解決するには、高い技術力が求められます。

劣悪な労働環境ではのびのび安心して働くことができず、技術力を高めることができないと私たちは考えます。充実した福利厚生だけでなく、風通しのよい風土づくりを大事にする価値観が浸透していることに、新しく私たちの仲間になったメンバーの多くは驚きます。

企業概要

代表取締役社長 CEO: 引屋敷智

- 創業: 1995年
- 本社: さいたま市中央区新都心
11番地2ランド・アクシス・タワー32階
- 電話: 048-600-3880
- [✉ si_sdgs_wg@sint.co.jp](mailto:si_sdgs_wg@sint.co.jp)
- [🌐 https://corporate.sint.co.jp](https://corporate.sint.co.jp)



人づくりは街づくり

地域の発展のために暮らしと環境整備に貢献し続けます

事業内容

当社は、1968年の創業以来、埼玉県内及びさいたま市内を中心に空調設備・給排水設備工事会社として発展してきました。

官公庁民間事業者・一般住宅を問わず、大規模な工事から小規模な工事まで柔軟に対応しています。設計・施工・管理・保守業務・修理等を行っていますが、現場は型にはまった作業ばかりではないため、苦勞する局面も多く、社員の技量が試される案件もあります。工夫が必要な案件こそ自分たちの成長を促してくれる大事な試金石と思い、日々精進しています。

SDGsに関する取組

当社では三つの目標に取り組んでいます。

一つ目は、社員の働きやすい環境づくりを推進するため、「子育て・介護・治療・仕事」の両立支援を目指しています。

二つ目は、「壊れない強さ」ではなく、「壊れてもすぐに回復できる強さ」を目標に災害時はすぐに復旧作業をできる企業を目指しています。

三つ目は、地域社会との協力、コミュニケーションとともに環境との調和、環境保護への取組を行う企業を目指しています。



▲現場



▲蓄光看板



▲壁面緑化

未来に向けて

「ぶれない基軸を持ち、刻々と変化する環境にフレキシブルに対応し、厳しい環境にも立ち向かうことができる持続可能な企業」を目指すべき姿としています。

建設業は人々の生活や経済活動の基盤であるインフラ構築・整備・防災・衛生・省エネ・環境保護など事業そのものがSDGsの目標と深く関わっており大きな役割を果たせると考えています。

自社の自慢

景気に左右されることも少なく、業績安定で成長を続けています。

2021年7月に本社を移転し、壁面緑化や太陽光、EV車専用充電スタンド、AEDの設置などのほかバリアフリーにも対応したオフィスとなりました。

また「子どもひなん所110番の家」、「埼玉県地域防災サポート企業事業者」に登録しており地域の防犯・防災に貢献しています。



▲積田冷熱工事杯

企業概要

代表取締役：積田鉄也

- 創業：1968年
- 本社：さいたま市緑区大門2619
- 電話：048-767-6051
- info@tsumitareinetsu.co.jp
- <http://www.tsumitareinetsu.co.jp/>



「包む楽しみ。手にとる喜び。」

をお届けする企業であり続けること。」を目指します

事業内容

当社は、1984年に創業いたしました。創業以来、手作りの心を大切に、味と製法にこだわった米菓を作り続けております。現在では、日本全国のお客様からご注文をいただきお届けしております。これからの、子供からお年寄りまで楽しんでいただける米菓をお届けしたいと願い、目指しております。手揚げもち・せんべい・おかきの懐かしい食感の中に新しい味を発見し、いつの時も素朴な味わいとおいしくつるぎのひとときを楽しんでいただけたら幸いです。

SDGsに関する取組

多様性を生かす経営として、性差別のない、学歴差別のない、年齢差別のない、多様な働きを推進しております。そのほか具体的な取組として、さいたま市小学生「どきどきわくわくまちたんけん(町探検)」、さいたま市中学生職場体験事業「未来(みらくる)ワーク体験」の受入れをしております。また、社員参加型・社会貢献活動の推進として、さいたま「ロードサポート」、「ロードレポート」、「3Rパートナーシップ」等に取り組み、街の美化活動を行っております。



▲「未来(みらくる)ワーク体験」の感謝状



▲街の美化活動



▲手作りの心を大切に、味と製法にこだわった米菓



▲ロングセラー商品「手揚げもち」

未来に向けて

理念である、七越の願い。「縁起の良い“七”を更に越えた、末広がりの“八”が皆さまに訪れますように。」、目標である「10年先まで続く企業でありたい」を実現するために、当社はSDGsのゴール17に掲げられているパートナーシップに関連する取組を実施して、その実現を目指してまいります。

自社の自慢

真つすぐで頑固な味ゆえ、永く愛され続けています。七越の手揚げもち。当社自慢のロングセラー商品「手揚げもち」を通じて、七越の7つのわ(和)と共に、7つのわ(和)へ、「包む楽しみ。手にとる喜び。」をお届けし続けております。(7つのわ(和)とは「お客様」「消費者様」「地域・社会」「パートナー会社様」「従業員」「経営者」「株主」を指します。)

代表取締役社長：片岡陽一

- 創業：1984年
- 本社：さいたま市中央区上峰 2-3-9
- 電話：048-852-3753
- info@nanakoshi.co.jp
- <https://www.nanakoshi.co.jp>

企業概要



「ものづくり」で豊かな社会形成に貢献します

事業内容

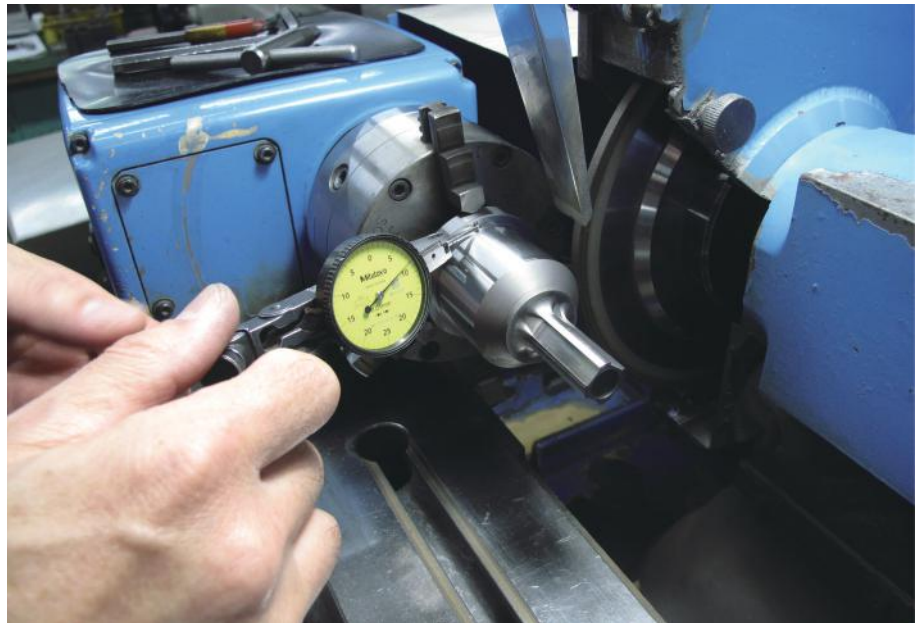
当社は1973年に創業しました。事業内容は焼結部品(粉末冶金製品)を成形するための「金型」を製造・販売しております。身の回りの家電、事務機器、自動車、住宅関連など様々な「モノ」の中に使用されている部品です。これらの焼結部品は高精度な要求をされるものが多いため、金型の要求精度も高くなります。金型の材料は超硬合金や高硬度材料を使用しており、各種工作機械で高精度に加工しております。また小ロット部品なども製造しております。

SDGsに関する取組

当社の取組としては、省エネ対策として節電のために事務所と工場内の照明をLED化しております。また、年々気候変動の影響により暑さも厳しい状況が続いております。エアコンを新設することにより、工場内の環境整備を図ることで電気使用量の削減をしております。地域との交流においては中学校、高校などからインターシップなどの受け入れを積極的に行い、学習を通じて生徒との交流をしています。持続可能な社会の実現のためには、エネルギーや環境問題に配慮することも重要です。環境汚染につながる廃棄物を出さない。リサイクルによって少ない資源で製造する取組も行っております。



▲地域の清掃活動(U字溝の清掃)



▲円筒研削盤での作業



▲事務所LED照明新設エアコン



▲社員の集合写真

未来に向けて

年々、脱炭素社会に向けた取組が広く浸透してきました。環境と経済の両立を図りながら豊かな地球を守るために、資源の保護、省エネやエコカーへの切替えなど、持続可能な世の中に向けて活動してまいります。また、従業員の人材育成と育児のサポートなど働きやすい職場を整えることにより2022年は埼玉県県の「多様な働き方実践企業」の認証を受けることができました。今後も、企業の発展と社会への貢献をしていきます。

自社の自慢

金型で作られる粉末冶金の製品は、歩留まりが良く、余分な廃材を生まないため、資源の保存につながります。また大量生産ができるため、大きなコストダウンを実現して、人々の暮らしを豊かにすることに寄与します。機構部品として使用されることがほとんどなので、外観ではなく「中」で活躍する縁の下の力持ちのような成長できる企業であり続けられるよう今後も従業員一同、努力してまいります。

企業概要

代表者: 本田敦弘

- 創業: 1973年
- 本社: さいたま市岩槻区裏慈恩寺 854-5
- 電話: 048-794-1911
- [✉ hondaa@nsmold.co.jp](mailto:hondaa@nsmold.co.jp)
- <http://www.nsmold.co.jp/>



創業100周年を迎える缶メーカーとして 顧客ニーズに即応し、最大限の顧客満足度を提供！

事業内容

当社はまもなく創業100周年を迎える金属容器(18L缶・美術缶など)の製造及び販売をしております。創業以来、市場の動向を先取りし、顧客ニーズに応えられる製品の開発に注力し多種多様な内容物に耐性を持つ金属容器の開発に成功、高い品質を持った製品の提供によりお客様には多岐にわたり大変喜ばれております。スチール缶の高いリサイクル性に着目し、循環型社会に適応した更なるリサイクルの率先垂範と資源の有効活用を強力に推進するとともに、女性活躍推進にも率先して取り組んでおります。



▲製缶ラインにて(当社製造18L缶)

SDGsに関する取組

金属加工業という職業柄、男性が多い会社ですが、働きやすい環境づくりに取り組みながら女性活躍推進法に基づく「えるぼし認定」取得へ向け取り組んでいます。

2022年度の主な取組は、

- ①世界の子供へワクチンを届けるためのエコキャップ回収
- ②不良缶の削減や廃プラ分別によるCO₂削減
- ③「さいたま緑のトラスト協会」へ入会し、ボランティアスタッフとして緑の保全活動に参画した活動等があります。

また、2002年11月に環境ISOの認証を取得して以来、環境負荷の低減を推進しています。



▲エコキャップ回収風景



▲さいたま緑のトラスト協会での緑の保全活動



▲創立記念式典にて

未来に向けて

サプライチェーン全体における環境負荷低減の流れを踏まえ、容器面からの製品開発や、製造工程のみならず、搬入・出荷作業を省力化できるような総合的な提案に努めます。高いリサイクル率(2021年度:93%)のスチール缶の特性を生かし、製造工程内での金属スクラップの再資源化率100%を継続します。また、働きがいのある職場作りの中でSDGsの理解を深め、地域の清掃活動や緑の保全活動に参画しながら持続可能なまちづくりに向けた活動を実践しています。

自社の自慢

缶廃棄時の分別問題のソリューションとして、当社は、高い技術力により唯一無二の容器開発に成功しています。当社は上場企業であり、充実した福利厚生、教育面でも男女問わず自分の能力を最大限に発揮できるような育成システムや研修制度があり、社員の資格取得も積極的に支援しています。毎年の創立記念式典では、従業員の勤続年数に応じた表彰と金一封もあります。近年課題のメンタルヘルスケアとしては、ストレスチェックの実施やハラスメント講習会を実施するとともに、「家族の日」を月2回設け、従業員が働きやすい環境作りにも注力しています。また、「改善提案制度」を生かした、社員自らが「より働きやすい職場を社員全員で作っていく」という風土、自由闊達(かったつ)に、仲良く仕事を行い、社会に貢献していこうという企業文化は、創業以来脈々と続いています。

企業概要

代表取締役社長:松田豊彦

- 創業:1925年
- 本社:さいたま市北区吉野町 2-275
- 電話:048-665-1251
- <http://www.nihonseikan.co.jp/>



「花・心・伝・笑」笑顔咲く街をつくります

事業内容

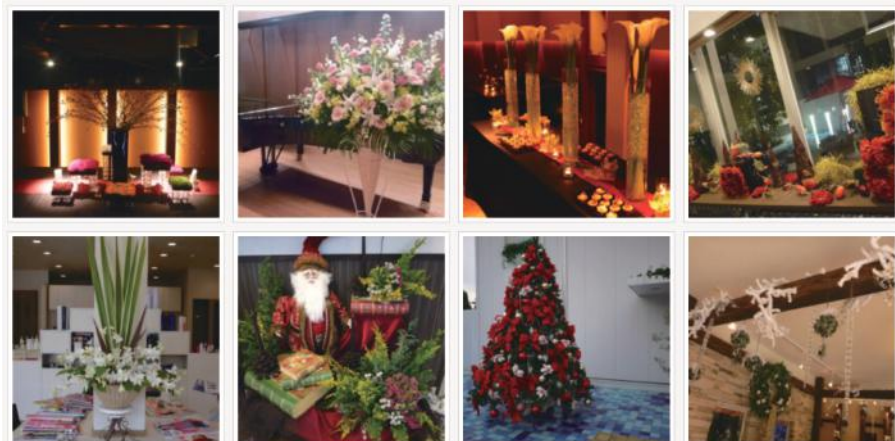
花たろうは、小売(花屋)です。店舗販売だけでなく、お客様の多様な用途にお応えできるよう、会場装花、店舗ディスプレイ、プライダル、植物のコーディネート、フラワーコーディネートもお受けしています。自宅用、ギフト用など、贈る相手やシチュエーションなどをお伺いし、アドバイスをしながらお作りいたします。あなたの思いをお花に込めて、大切な方へいつでも届ける準備ができております。

SDGsに関する取組

女性が活躍できる職場を目指しています。具体的には、女性の役職者を増やすことによって、スタッフの裁量の拡大と、フレキシブルな労働環境の整備を実現したいと考えています。花たろうは、このような取組によって、社員の働きがいや、様々な生活背景に柔軟に対応するといった点で貢献していきます。



▲店内



▲多様な用途にお応えします



▲女性が活躍できる職場を目指しています



▲花たろうのスタッフ

未来に向けて

花たろうは、花贈りの文化を広めたいという思いがあります。花贈りの文化を広めることで、地域に誇りをもてる人、地域を愛する人を増やしていきたいと考えています。そんな花たろうの花を贈られた方に花を長く楽しんでもらうために、特に鮮度にはこだわります。鮮度を保つには、仕入れから始まり、花の種類に合わせた水揚げ、花の命である水、温度差にも配慮が必要です。花たろうの花で地域の笑顔が広がっていくことを願っています。

自社の自慢

「花たろう」という店名には、親しみやすく多くの人に愛される花屋になりたいという願いを込めました。開店間もない頃、字を覚えてたの小さなお子さんが「あ！はなたろう」と看板を読んでくれた時のうれしさは、今でも忘れられません。

花や緑に囲まれて植物の癒しの力を感じながら、今日もスタッフと元気に働けるのは、小さなお客様からご年配の方まで、たくさんの大切なお客様のおかげです。花選びや育て方などを、お客様と話す中で、私たちが花の新たな魅力を発見することがあります。自分のためのお花。大切な方へのお花。特別な日のお花…。選んだ時の気持ちが、きっと花に伝わるでしょう。

花は心運びます。お客様の大切な心をお届けしたい。花贈りの文化、そして笑顔を広めたい。それが私たちの使命です。

企業概要

代表取締役：井原光太郎

- 創業：1992年
- 本社：さいたま市桜区栄和 5-22-25
- 電話：048-859-3477
- flower@hanataro.com
- http://hanataro.com



声磨き®で社会課題を解決、地域社会との共創を目指す 「声のチカラで日本を元気に！」

事業内容

日本の学校教育では学ぶ機会がなかった声の磨き方・話し方を、体系立てて独自開発した声磨き®メソッドを提唱し、2009年の創業以来、老若男女4万人以上の課題解決をまいりました。近年は個人向けのみならずコミュニケーションのつまづきを解消し生産性の向上に導くための法人研修事業、地域を活性化させる声磨き®インストラクター養成事業に力を入れております。更に、健康づくり・介護予防の一環として誰でも手軽に無理なく行える「健康声磨き®」を確立し、のどを鍛え誤えん予防、オーラルフレイル予防に向けたトレーニング講座を全国各地に展開しています。

SDGsに関する取組

■100万人の声磨きフェスティバル

誤えん性肺炎の急増が社会問題化している昨今、のどを鍛えて誤えんを予防する健康声磨き®は必要不可欠であり、オーラルフレイル予防にも大変有効です。10年後には日本人の1%の100万人が声を磨いて生き生き長寿社会が実現される世の中を目指し無料で開催、2022年は全国5会場に拡大。コロナ禍で人に会わない生活を過ごして声が出づらくなっていた来場者が3年ぶりにお腹から声を出して「生き返った気分だ！」と絶賛されました。

■学校教育でのカリキュラムに

東京都立王子総合高校では平成23年度から声磨き®メソッドを導入、日本初となるカリキュラムがスタート。グローバル社会、AI時代を見据えたコミュニケーション能力の向上に力を注いでいます。



▲100万人の声磨きフェスさいたま会場の様子



▲女性リーダーの話し方教室



▲声磨き健康経営導入事例



▲声磨き®インストラクター

未来に向けて

この埼玉・浦和から、声のチカラで人々のコミュニケーションに潤いを与え、日本を、世界を元気に！ 全国で活動する認定声磨き®インストラクターとともに、社員一同前進してまいります。また、声帯の老化が始まっている40・50代の方にこそ、これからの人生設計の下支えともなり得るのどを鍛えることの大切さと声のアンチエイジングに関心を持っていただくべく、健康経営という側面からも社会に向けて普及・啓発いたします。

自社の自慢

自分の得意な「声」を生かしてやりがい・生きがいを感じながら活躍できる、様々なバックグラウンドの講師が集まる声磨き®インストラクターのネットワークは、正に今の時代の多様な働き方の象徴です。北海道から沖縄まで全国各地で老若男女問わず声にお悩みを抱える全ての方の人生を豊かにすると同時に、各々の地域を活性化することで社会に貢献しています。

企業概要

代表者：佐藤恵

- 創業：2009年
- 本社：さいたま市浦和区仲町1-15-1
エスプリ浦和103号
- 電話：048-829-9624
- info@vcsucre.com
- <https://vcsucre.com/>



建物管理を通じて未来永劫(えいごう)に住み続けられるまちづくりの実現を目指します

事業内容

当社は、1973年2月に埼玉県大宮市(現さいたま市大宮区)にビルの清掃を主体として創立した建物総合管理会社です。当社は創業以来、建物オーナー様と共に建物管理における様々な業務に取り組み、お客様の右腕として、総合的・統括的な建物管理における多様な業務をワンストップサービスで提供しております。

お客様の資産である建物と向き合いながら長期的な視点での維持管理を行い、ビル経営を戦略的にサポートするとともに、未来永劫(えいごう)に住み続けられるまちづくりの実現に向けて取り組んでいます。

SDGsに関する取組

当社では、主に三つの目標に取り組んでいます。

一つ目は、少子高齢化が進み生産年齢人口の減少が危惧される中、働く意欲と能力のあるシニア層がいつまでも働くことのできる労働環境の構築に取り組んでいます。

二つ目は、埼玉県とロードレポーター協定を締結し、道路における不具合の早期復旧に向けた報告活動を推進することで安心安全なまちづくりに向けた取組を行っています。

三つ目は、社有車から排出されるCO₂削減のため、社内教育やZEVの導入を進めています。そのほかにも社会的要求性能を満たした建物管理の推進など、事業活動を通して住み続けられるまちづくりに向けに取り組んでいます。



▲設備点検作業



▲森林保全活動の様子



▲当社自慢のスタッフ達

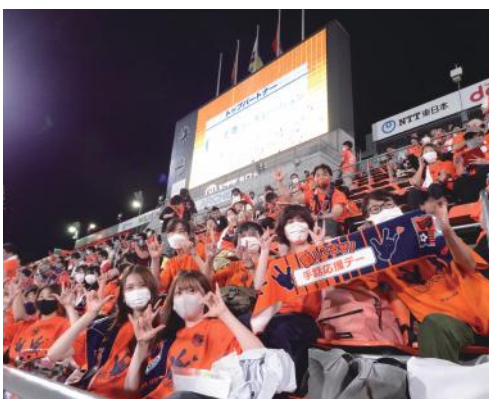
未来に向けて

私たちの事業である建物管理は、人々が住み集うまちがなければ成り立ちません。建物はまちがあり、人がいて初めて建物としての価値が生まれると私たちは考えています。

これからも毎日興業は、地域とともに、「住み続けられるまちづくりの実現」に向けて事業活動を通して取り組むとともに、一地域企業として様々なまちの活動に参画し、誰もが安心・安全・快適に暮らせる社会の実現に向けて取り組んでまいります。

自社の自慢

当社のお客様から一番ご好評をいただいている点は何よりも「現場で働く一人一人の社員そのもの」です。私たちは、「人材育成による質の高いサービスを通じて、相互信頼を築き、業績の向上を図る」という経営基本方針に基づき、日頃から人間学を学び、人として成長することにより最良のサービスの提供ができると考えています。これからも社員とともに、地域とともに住み続けられるまちづくりの実現に向けて成長してまいります。



▲大宮アルディージャ手話応援デーの様子
写真提供:大宮アルディージャ

企業概要

代表取締役: 田部井良

- 創業: 1973年
- 本社: さいたま市大宮区浅間町 2-244-1
- 電話: 048-642-1238
- soumu@mainichikogyo.co.jp
- <https://www.mainichikogyo.co.jp>



おいしさや栄養バランス、安全安心に加えて、 お客さまのこころを満たす食事を提供する

事業内容

当社は1962年に創業した給食委託会社のパイオニアとして、これまで60年にわたる歴史の中で、保育園・幼稚園、学校、オフィス、工場、病院、高齢者施設向けの給食サービス、つまり0歳児から高齢者まで全てのライフステージに向けて食事を提供しています。

様々な分野で、様々な人々が求める“おいしさ”をつくる経験が、豊富なノウハウ・知見の蓄積につながっています。加えて、全国の各拠点では、食材の地場調達にも注力し、旬の新鮮な食材を提供することはもちろん、食の安定供給、コストメリットなども見据えて最適の事業モデルを追求しています。

SDGsに関する取組

毎日提供する食事に対する取組の積み重ねが、持続可能な社会の実現へつながるという思いから、当社埼玉事業部では、下記のような目標を掲げ、社員一丸となって取り組んでいます。

- ① 残菜量を各事業所で計量しているため、結果を献立作成に反映させることで、残菜ゼロを目指しています。また、カット野菜や無洗米の使用率を上げることで資源削減を実行しています。
- ② 埼玉県内における障がい者雇用を積極的に行い、障がいの有無に関わらず働きがいのある職場を提供しています。具体的には、現場作業工程の細分化により働きやすい環境を整備し、細やかなコミュニケーションをとることで、長期的雇用を目指しています。



▲仕事の創出支援



▲事業内容「給食委託会社のパイオニア」



▲人々を食から支える

未来に向けて

新型コロナウイルス感染症拡大の影響が続く中、当社は本年創業60周年を迎えました。我々は、このコロナ禍でエッセンシャルな事業に携わる人々を支える重要な社会的役割を担っていることを再認識し、様々な分野で対応を担う方々を食事から支えるべく、安心して業務を任せただけの体制の構築・維持に尽力しています。今後もクライアント様の思いに寄り添いながら、多様な「食」への思いを結集し、失敗を恐れずチャレンジし、自らを変革して、次の10年、その次の10年、そして100年企業を目指してまいります。

Mission 食に想いを。人にぬくもりを。

Vision 地域No.1の頼られる存在へ。

Value つなぐ笑顔。つながる未来。

▲当社のミッション、ビジョン、バリュー

自社の自慢

全国約2,300ヶ所の現場において、お子様からご高齢の方まで全てのライフステージのお客様への安全・安心な「食」をサポートする当社の最も重要な資産は、「人材」です。全国約1万8,000人の従業員が、多様化する市場のニーズあるいはクライアント様の課題に日々真摯に向き合っています。女性管理職比率が5割を超え、組織体制のもと、管理栄養士・栄養士・調理師・外国人技能実習生など、多様な人材が協調・調和し、60年間積み上げてきた「食」の提供ノウハウを進化させながら、地域No.1の頼られる存在となれるよう、地域とともに歩んでいきます。

企業概要

代表取締役社長：長江孝之

- 創業：1962年
- 支社：さいたま市大宮区 桜木町1-10-16
- 電話：048-646-4191
- FAX：048-646-4195
- <https://www.mefos.co.jp/>



埼玉ITイノベーションカンパニー

事業内容

埼玉県を中心に通信機器やセキュリティ等のソリューションサービス、WEB構築サービスを展開し、埼玉地域の経済に貢献する事を基本理念としております。

グローバルな時流の変化に対応した総合的なセールス支援、ブランディング支援、マーケティング支援、海外進出支援、経理支援、リクルート支援など、クライアントが目指す目標達成のために、ITを駆使したコンサルティングを提供します。



▲埼玉企業ビジネスマッチングサイト彩都.biz

SDGsに関する取組

自社運営のビジネスマッチングサイト彩都.biz(<https://www.1saito.biz/>)の掲載企業数を拡大及び内容を充実させ、現在では4,000社を超える掲載数となっています。

また、時には顧客同士の紹介を行う事で各顧客とのパートナーシップを強化しており、地域経済の活性化に貢献しています。



▲社内バーベキューの様子

未来に向けて

各方面の一流企業をビジネスパートナーとして、お客様のIT環境の改善はもちろん、仲間づくりにも役立っていききたい次第です。

また、グループ企業としてIT技術者50名規模のシステム開発会社(東京都大田区)を仲間に加えて、より高い付加価値を提供できる体制になりました。

企業力をより一層高めることで既存クライアントからのニーズに応え、ITイノベーションカンパニーとして埼玉の地域経済に貢献する事を念頭に事業を推進しております。

自社の自慢

埼玉で産声を上げた企業として、企業価値や社会的信用力の向上に努めると同時に、「ITで中小企業の未来を創造する」というビジョンと、それを実現するために努力を惜しまない志高いメンバーと共に更なる飛躍を目指してまいります。



▲富士フィルムBI(旧富士ゼロックス)特約店です

企業概要

代表取締役会長 CEO: 玉貫洋一郎

- 創業: 2003年
- 本社: さいたま市大宮区高鼻町
1-20-1大宮中央ビルディング7F
- 電話: 048-650-0113
- info@1modeling.com
- <https://modeling.jp/>



さいたま市



令和5年3月発行

発行

さいたま市経済局商工観光部経済政策課
〒330-9588 さいたま市浦和区常盤6-4-4
電話:048-829-1362
FAX:048-829-1944

この「さいたま市SDGs認証企業事例集 Vol.2」は、
500部作成し、1部あたりの印刷費用は465円(税込)です。
本資料の全部又は一部を無断で複写し、利用することを禁じます。

